

令和7年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和6年度末時点）

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立地域総合センター上ノ島	施設所管課	総合政策局 地域総合センター担当
施設住所	尼崎市南塚口町8-7-25	竣工	R4.3(築満3年)
設置目的	・地域住民をはじめとする市民相互の交流の促進 ・人権啓発意識の普及高揚の促進		
主な事業内容	市民相互の交流の促進、講座や講演会等を通じた市民の学びと人権啓発意識の促進・支援		
指定管理者名	社会福祉法人いきいきのびのび	指定期間	自 R2.4.1 至 R7.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	☒ 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☒ 効率的な施設維持管理運営 ☐ 団体等の担い手としての成長 ☐ その他()

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

子どもから高齢者まであらゆる世代が、元気で健康に過ごし、交流を育むことができる施設を目指す。

実施結果

毎日実施している子どもの居場所事業について、前年をさらに大きく上回る来館者数を達成している。子ども達にとって魅力的な施設となるように、職員の接遇向上にも努めている。（指標②）

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：各講座に係る利用者満足度（単位：％）											
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	90.5%	90.5%	90.5%		
実績	-	-	-	-	-	90.5%	93.4%	94.7%	93%		
達成度	-	-	-	-	-	-	103.2%	104.6%	102.9%		
評価	-	-	-	-	-	-	○	○	○		

指標②：子ども居場所事業の参加者数（単位：人）											
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	23.7	-	35.0		
実績	27.1	23.7	20.2	14.3	11.3	10.4	29.9	36.7	41.0		
達成度	-	-	-	-	-	-	126%	-	117%		
評価	-	-	-	-	-	-	◎	-	◎		

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

利用者の意見を参考にしながら、市民サービスの維持・向上に努める。

実施結果及び評価

夏には熱中症対策として利用者向けの給水サービスを実施した。また、Wi-Fi貸出については、利用者の利便性を更に向上させるため、貸出ではなく常設という形態で設置した。多くの来館者に対応するため、こまめな臨時駐輪場の開放に努めた。講演会の内容によっては地域関係団体等と連携した共催事業として実施することで、講師謝礼金の指定管理者負担額の縮減が達成できた。

○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

施設内の省電力、ゴミの分別及び減量に努める。

実施結果及び評価

新設にあたりLEDが導入され消費電力が抑えられている。また、トイレや廊下などは人感センサーが設置されており、必要な時だけの電力使用が可能となっている。さらには、デマンドコントロールにより、無理のない範囲での電力抑制に努めた。また、ゴミの分別、リサイクルを励行した。コピー用紙はグリーン購入法適合のリサイクルペーパーを使用した。

○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	42,918,000	42,918,000	0	人件費	29,509,000	29,373,363	135,637
				事業費	2,500,000	2,027,296	472,704
				施設維持管理運営費	7,528,000	7,971,721	-443,721
				その他	3,381,000	3,294,667	86,333
収入計	42,918,000	42,918,000	0	支出計	42,918,000	42,667,047	250,953

効率性

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	総合センターの効用を最大限に発揮させるとともに、その管理運営に係る経費の縮減を図る。
指定管理者自身が設定した目標	新しい発想で明るく楽しい魅力ある、誰もが利用したいと思える総合センターづくりを目指す。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	地域住民等の人権啓発の拠点であり、地域コミュニティの拠点となる施設					
目標指標	指標	「人権問題に対して無関心もしくは興味がない」と感じる市民の割合（％）				
指定期間	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	達成状況の評価
目標値	－	－	34.92%	30.00%	29.00%	
実績値	34.92%	39.62%	30.41%	29.20%	27.90%	

適正性	法令遵守	
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	施設の経営状況	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
	危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
パートナーシップ	災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
	災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
	災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
	履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
	年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
	選定時の提案内容が実施されているか	適正
	業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正
	関係性の構築	
	月1回の意見交換会を行うほか、適時の報告・連絡・相談を互いに密にしている。	
	協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）	
	立花中学校区人権教育・啓発推進会議では、同校区4校及びPTAとの連携に努めるとともに、子どもの居場所事業の運営にあたっては、当該校区学校と連携を行った。センター利用者や相談者等、地域でケアを必要とする場合、市の保健福祉の担当者・学校関係者も交え、ケースカンファレンス等を実施し、必要な支援の一助とする事業の実施ができた。「尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業」を活用した園田学園女子大学ゼミの協働する団体として、運動や遊びを通じて行う子どもの見守り・ささえあい活動を実施した。	
	指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）	
	今年度も利用者数が増加した。前年度比さらに参加者数が増えた子ども居場所事業については、適正な施設利用について案内を行った。また、主に健康増進を目的に参加する高齢者層に対しては、人権問題講演会への参加を誘導するなど、施設の設置目的を達成するための仕掛けを行った。職員が積極的に利用者に関わることで、困りごとの拾い上げを行い、利用者の自立支援に努めるとともに、ニーズ把握を行うことで、今後より一層の利用者満足度の増進、管理運営の改善に努めていきたい。	
	市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）	
	子どもの居場所事業は順調に推移している様子であり、加えて他の年齢層、特に高齢者層へのさらなるアプローチを検討する等、事業運営の取組姿勢は評価できる。利用者の安心・安全な環境確保にも配慮しながら、引き続き取組みを進めてもらいたい。また、今後は、センターのより効果的・効率的な運営に着目した取組につなげるため、事業内容や利用者特性などを研究し、既成概念にとらわれない事業展開を進めてもらいたい。	
	双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）	
	今後とも連絡を密にしながら事業を展開していく。館管理面における遵守事項等や、市の考え方についても随時共有する場を持ち、指定管理業務の適正執行に努める。	

令和7年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和6年度末時点）

1 施設概要
(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立地域総合センター神崎	施設所管課	総合政策局 地域総合センター担当
施設住所	尼崎市神崎町14－22	竣工	S58.7(築満41年)、H27.3(築満9年)
設置目的	・地域住民をはじめとする市民相互の交流の促進 ・人権啓発意識の普及高揚の促進		
主な事業内容	市民相互の交流の促進、講座や講演会等を通じた市民の学びと地域に対する市民活動の促進・支援		
指定管理者名	特定非営利活動法人 スマイルひろば	指定期間	自 R2.4.1 至 R.7.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	☒ 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☒ 効率的な施設維持管理運営 ☐ 団体等の担い手としての成長 ☐ その他()

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性	施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施） 今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定） 継続しているハンセン病問題については、岡山県長島愛生園の負の世界遺産の登録シンポジウムに参加する。中高生・子どもの居場所については更なる充実に取り組む。また、新たな人権問題・地域還元の事業に取り組む。											
	実施結果 長島愛生園を負の遺産とするシンポジウムに参加し、ハンセン病問題の根の深さを知ることが出来た。人権問題については「沖縄県人と戦争秘話」と題し、渡野喜屋事件の実態を聞き、戦争の悲惨さを知ることが出来た。また、月1回の割合で健康相談日を設け、健康に関する講演を開催することができた。新たな視点から人権問題に取り組む講演会として「こころ育む「いろ」のチカラ」も実施できた。											
	（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況											
	指標①：各講座に係る利用者満足度（単位：％）											
	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	目標	－	－	－	－	－	－	80%	85%	85%		
	実績	－	－	－	－	－	－	95%	85%	85%		
	達成度	－	－	－	－	－	－	119%	100%	100%		
	評価	－	－	－	－	－	－	○	○	○		
	指標②：新たに取組んだ差別問題の講演会参加者人数（こころ育む「いろ」のチカラ）（単位：人）											
	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
効率性	目標	－	－	－	－	－	－	60人	22人	50人		
	実績	－	－	－	－	－	－	54人	22人	69人		
	達成度	－	－	－	－	－	－	90%	100%	138%		
	評価	－	－	－	－	－	－	○	○	◎		
	◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）											
	①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか 今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定） 施設利用者に快適に利用してもらうため、挨拶の励行と親切な対応に努めるとともに施設面においては日常の見回りを重視し、状況把握と速やかな修理に努める。											
	実施結果及び評価 施設利用者に対する対応態度も利用者から喜ばれ、感謝の言葉をいただいている。また、劣化が激しいカーテンフックの取替を行う等、施設整備には、細心の注意を払った。											○
	市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）											
	②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか											
	こまめな照明及び冷暖房のON・OFFを徹底するとともに、グリーン購入を積極的に取り入れる。											
パートナーシップ	実施結果及び評価 こまめな照明及び冷暖房のON・OFFを徹底し、グリーン購入を取り入れることができた。											○
	◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している											
	（参考）経費の状況（単位：円）											
	収入				支出							
	項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引				
	指定管理料	38,279,000	38,279,000	0	人件費	26,140,000	27,799,870	-1,659,870				
					事業費	2,250,000	1,547,658	702,342				
					施設維持管理運営費	6,152,000	5,605,204	546,796				
					その他	3,737,000	3,311,698	425,302				
	収入計	38,279,000	38,279,000	0	支出計	38,279,000	38,264,430	14,570				

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	施設の効用を最大限に発揮させるとともに、施設の管理を安定して行う。
指定管理者自身が設定した目標	地域の拠点施設として、地域住民の活動を支えるとともにあらゆる差別問題解消に向けた施設を展開する。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	地域住民等の人権啓発の拠点であり、地域コミュニティの拠点となる施設					
目標指標	指標	「人権問題に対して無関心若しくは興味がない」と感じる市民の割合（％）				
	指定期間	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値			21.78	14.51	14.00
	実績値	30.23	13.33	14.51	14.71	21.28

適正性	法令遵守	
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	施設の経営状況	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
	危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
パートナーシップ	災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
	災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
	災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
	履行状況－提案時及び年度当初の計画等のおりに業務を行ったか	
	年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
	選定時の提案内容が実施されているか	適正
	業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正
	関係性の構築	
	指定管理者と市所管課との月例会議以外にも、随時個別の意見交換などを行っており、課題を共有する。利便性のある施設を持つ小田地域課と連携した事業に取り組んだ。 ダイバーシティ推進課が実施する調査にも積極的に協力するなど、関係機関との連携に努めた。	
	協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）	
パートナーシップ	今年度、新たに取組んだこころ育む「いろ」のチカラ・セクハラとDVの人権問題講演会について、小田地域課と連携し、参加者も多く、アンケート結果から賛同を得たと考えられる。また、沖縄の文化を知ろうと題して、戦争末期に起きた「渡名喜屋事件」の体験談と合わせて古典音楽等を三線で奏でてもらった。次に、地域等との協働で、別室登校中学生の居場所として近隣農園で、草花の手入れや野菜の種まきから収穫まで、体験活動の場の提供ができた。次に地域活動として、「かんばんきよもやま話」「健康相談室」地域の方による「かごづくり教室」の開催するなど地域一体となった事業実施ができた。	
	指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）	
	利用者の利便を考慮する目的を含め小田地域課と連携を図った事業に取り組んだ。「子どもの居場所」としての施設に位置付けていることから浜小学校・小田北中学校と連携した。また、県立神崎工業高等学校の生徒と地域の子供達との触れ合いを促進するため「神工作教室」の2回/年実施。施設維持管理については、「子どもの居場所」であることから社会ルールの礎としての役割を果たすための見守りを行った。また、アフリカから避難民として地域に移住された方のための日本語教室を新たに開設した。	
	市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）	
	ハンセン病問題への継続的かつ積極的な取組みや、新たな人権課題への取り組み、地域の実情に合わせて日本語教室を開設するなど、しっかり地域の課題に向き合っている。 今後とも市との協働や地域の各種団体との連携を強め、センターの設置目的の達成に向けて事業を実施してもらいたい。内部管理体制についてであるが、これから職員の入れ替わりが想定されるなか、今後の業務の継続や、指定管理者としての人材育成に意を尽くしてもらいたい。	
	双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）	
	これからも積極的かつ継続的に人権課題について取り組んでいく。 市との協働や地域の各種団体との連携を強化し、センターの設置目的の達成に向けて取り組んでいく。 内部管理体制については、マニュアルの充実や、データ及び文書の整理・共有化などをすすめるとともに、指定管理者としての人材育成に取り組んでいく。	

令和7年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和6年度末時点）

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市地域総合センター水堂	施設所管課	総合政策局 地域総合センター担当
施設住所	尼崎市水堂町2丁目35－1	竣工	S49年(築満50年)、S56年(築満43年)
設置目的	・地域住民をはじめとする市民相互の交流の促進 ・人権啓発意識の普及高揚の促進		
主な事業内容	市民相互の交流の促進、講座や講演会等を通じた市民の学びと人権啓発意識の促進・支援		
指定管理者名	一般社団法人水堂総合センター運営委員会	指定期間	自 R2.4.1 至 R7.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	☒ 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☒ 効率的な施設維持管理運営 ☐ 団体等の担い手としての成長 ☐ その他()

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

利用者アンケートを分析し、地域課題である高齢者の人権や福祉、身近なことをメインテーマとした講演会を開催して、より魅力的で満足度が高く、多くの方が利用したくなる取組をする。

実施結果

生前整理・遺品整理の「家じまいの作法」の講演は、高齢者の人権や福祉について考え、誰にも必ず訪れること、何から取り組むのか理解できたなど大変好評だった。「いのちの大切さを考える」の講演は、身近な子どもたちを犯罪被害者・加害者にもさせないために、地域でできること、子どもたちにも聞かせたいとの声があった。「認知症を知ろう・語ろう」では、具体的な介護施設のことに興味を持つ方も多かった。「グリーンケア」は参加者数は多かったが、内容が少し難しいようだったので、次年度より参加者ニーズにあった内容に取り組む。

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況

有効性

指標①：事業満足度（単位：％）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	80%	85%	89%		
実績	－	－	－	－	－	－	85%	89%	82%		
達成度	－	－	－	－	－	－	106%	105%	92%		
評価	－	－	－	－	－	－	○	○	○		

指標②：人権問題講演会参加者率（単位：％） ※計算式：参加者数÷募集人数

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	－	－	100%		
実績	－	－	－	－	－	－	129%	64%	86%		
達成度	－	－	－	－	－	－	－	－	86%		
評価	－	－	－	－	－	－	－	－	○		

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

施設利用者に快適に利用してもらうために、施設の修繕に取り組む。

実施結果及び評価

本館集会室床がワックスによるべたつきがあり、利用者からも要望があったため、ノンワックスのシートに張替を行い、色目も明るい色に変更して、清潔感も向上し、より利用しやすい施設になるよう努めた。

○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

こまめな電気の消灯や貸館利用後の冷暖房電源確認、物品購入の際には積極的にグリーン購入にしよう努める。

実施結果及び評価

日常においては職員の節電・節水等を意識し、こまめな電気の消灯に努めながらも、貸館利用前に冷暖房を入れ、利用者が快適に過ごせるようにするとともに、利用後の冷暖房電源確認などを行った。また積極的なグリーン購入に努めている。

○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

(参考) 経費の状況（単位：円）税込

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	45,440,000	45,440,000	0	人件費	33,813,000	30,726,999	3,086,001
				事業費	2,789,000	2,569,317	219,683
				施設維持管理運営費	6,768,000	7,198,967	-430,967
				その他	2,070,000	2,065,300	4,700
収入計	45,440,000	45,440,000	0	支出計	45,440,000	42,560,583	2,879,417

効率性

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	総合センターの効用を最大限に発揮させるとともに、その管理運営に係る経費の縮減を図る。
指定管理者自身が設定した目標	利用者の安全とサービス向上を図り、利用者ファーストの運営を行う。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	地域住民等の人権啓発の拠点であり、地域コミュニティの拠点となる施設					
目標指標	指標	人権問題に対して無関心もしくは興味がないと感じる市民の割合を指定期間中に減少させる				
	指定期間	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値	－	－	32.77%	32.77%	22.09%
目標指標	実績値	32.77%	－	34.41%	22.09%	29.88%
	達成状況の評価					

適正性	法令遵守	
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	施設の経営状況	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
	危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
パートナーシップ	災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
	災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
	災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
	履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
	年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
	選定時の提案内容が実施されているか	要改善
	業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	要改善
	関係性の構築	
	月1回の意見交換会を行うほか、適時の報告・連絡・相談を互いに密にしている。	
	協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）	
パートナーシップ	尼崎市立南武庫之荘中学校のボランティアクラブと連携して「こども夏まつり」を開催。中学生に地域交流を体験してもらうとともに、小学生や幼児と触れ合って、思いやりの心をはぐくむことが出来たと考える。また「もちつき大会」などを通じて地域交流の大切さと意識を高めた。尼崎市立花地域課と共催で、立花南生涯学習プラザにて、地域総合センター水堂の水彩画教室に受講しているプロギタリストによる阪神・淡路大震災30年の節目として、「いのちの大切さ」をテーマとした震災の講話とギター演奏会を開催した。	
	指定管理の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）	
	人権啓発パレードでは、南武庫之荘中学校吹奏楽部、登録団体や一般の方、特に今年度は人権標語入選者（表彰リボン付）と、その保護者も、のぼりの掲揚や啓発グッズの配布と一緒にしていただきながら、センターからJR立花駅までパレードを実施した。立花商店街の方々には、アーケードに人権啓発パレードの横断幕を掲げていただき、見物客の整理などパレード進行のご協力を得て、人権啓発意識の普及高揚につながった。施設は、老朽化が進み修繕箇所が増えているため、安全性を考慮して取り組んだ。業務に関して、マニュアルを作成して内容が把握出来るよう進めてはいるが、日常から職員個人の業務の共有化や引継ぎが出来ておらず、更に職員の定着も図れていないため、経験不足による不備が生じている。地域への社会貢献や人権尊重に働きがいを感じてもらい、人員の充足と定着を図るとともに、個人の業務の共有化や引継ぎが出来る仕組みをつくり、安定的に履行できるよう努めていきたい。	
	市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）	
	協働による事業の取組については、一定の成果をあげてきていると思われるので、引き続き努力していただきたい。管理運営体制については、市が選定時に提案のあった管理運営体制に関する改善方を求めたところ、指定管理者から見直しの提案を受けた。改善に向けての取組を進めているが、まだ十分な成果が出ているとはいえない状況である。喫緊の課題として、引き続き取り組んでいただきたい。	
	双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）	
	電気料金等諸経費の高騰及び修理修繕については随時市と協議する中で対応していく。地元の各種団体との連携強化については、引き続き取り組んでいく。地域住民や利用者の意見も適宜聴取して分析し、市とも協議する中で施設運営に反映していく。管理運営体制については、喫緊の課題であるとの認識のもと、重点的に取り組んでいく。	

令和7年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和6年度末時点）

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立地域総合センター今北	施設所管課	総合政策局 地域総合センター担当
施設住所	尼崎市西立花町3丁目14-1	竣工	S46.3(築満53年)
設置目的	・地域住民をはじめとする市民相互の交流の促進 ・人権啓発意識の普及高揚の促進		
主な事業内容	市民相互の交流の促進、講座や講演会等を通じた市民の学びと人権啓発意識の促進・支援		
指定管理者名	特定非営利活動法人人権センター東今北	指定期間	自 R2.4.1 至 R7.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	☒ 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☒ 効率的な施設維持管理運営 ☐ 団体等の担い手としての成長 ☐ その他()

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性	施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）											
	今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）											
	指定事業の実施に当たっては、地域住民(市民)の参画を得ながら、より効果的に実施していく。											
	実施結果											
	主な指定事業である「地域交流文化祭」や人権啓発推進委員会に関わる事業など、企画段階から市民の参画を得て実施し、講座事業については、地域の特性から高齢者の多いことから、健康増進、保健衛生、本年度から防犯など安心・安全に関わる事業を新たに企画・実施し、地域住民のニーズに沿った事業を実施している。(指標①)。子ども対象講座は、多種多様な講座を企画しているが、応募者も多く、やむを得ず抽選する講座も増えている。関係5校への公募チラシ配布が結果として現れている(指標②)。現状をふまえ新たな子ども対象講座の種目拡大が必要と考える。											
	(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況											
	指標①：全講座に関する受講率（単位：％）（計算式：申込者数÷定員）											
	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	目標	-	-	-	-	-	-	82.14%	92.12%	106.57%		
	実績	-	-	-	-	86.16%	82.14%	92.12%	106.57%	132.75%		
	達成度	-	-	-	-	-	-	112%	116%	125%		
	評価	-	-	-	-	-	-	○	○	◎		
	指標②：子ども対象とする講座受講率（単位：％）（計算式：申込者数÷定員）											
	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	目標	-	-	-	-	-	-	82.29%	102.86%	117.24%		
	実績	-	-	-	-	86.44%	82.29%	102.86%	117.24%	176.40%		
	達成度	-	-	-	-	-	-	125%	114%	150%		
	評価	-	-	-	-	-	-	◎	○	◎		

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）
前年度の利用実績を踏まえて、より効果的な事業を実施することにより、利用者サービスの向上を目指す。

実施結果及び評価
老朽化している施設の設備においては、利用者の目線に立ち、また要望を聞き取る中で、市民が利用しやすい施設設備の修繕(本館1階蛍光灯のLED化及び陶芸窯の修繕)を図り、市民サービスの向上に繋がった。
市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）
事業の準備手法を見直すなど、効率的な事業運営を目指す。物品を購入する際には、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に準拠し、適合する環境負荷の少ない商品を購入すること(グリーン購入)を実施していく。また、不要な電気の消灯等に努めていく。

実施結果及び評価
事業スケジュールを一部見直すことで、事業実施の効率化を図った。日常においては、職員の節電・節水等を意識しながら業務を行い、利用者にも呼びかけ理解と協力を得ている。また、可能な限り印刷物での両面使用や内部資料の裏紙利用を推進している。

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

(参考) 経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	46,340,000	46,340,000	0	人件費	30,000,000	31,988,848	-1,988,848
				事業費	2,156,000	1,929,193	226,807
				施設維持管理運営費	11,084,000	10,931,960	152,040
				その他	3,100,000	2,507,642	592,358
収入計	46,340,000	46,340,000	0	支出計	46,340,000	47,357,643	-1,017,643

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	施設の効用を最大限に発揮させるとともに、施設の管理を安定して行う。
指定管理者自身が設定した目標	同和地区を含む地域の特性を最大限に発揮できる、コーディネート役を果たし、地域プラットフォームになるように事業展開する。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	地域住民等の人権啓発の拠点であり、地域コミュニティの拠点となる施設						
目標指標	指標	「人権問題」に対して無関心もしくは興味がない」と感じる市民の割合(%)					
	指定期間	R2	R3	R4	R5	R6	達成状況の評価
	目標値	-	-	36.65	35.00	25.23	
	実績値	38.46	36.65	35.00	25.23	24.60	

適正性	法令遵守	
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	施設の経営状況	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
	危機管理―事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
パートナーシップ	災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
	災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
	災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
	履行状況―提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
	年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
	選定時の提案内容が実施されているか	適正
	業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正
	関係性の構築	
	指定管理者と市との月例会議以外にも、適宜、相談や調整を行っている。	
	協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）	
パートナーシップ	市と月1回の意見交換会を行い事業を行ってきた。また、関連施設新転任職員研修をはじめ、尼崎市新規採用職員研修(人材育成担当)等の連携した人権研修会の実施、小集団学習グループ(社会教育課)の活動支援や学校関係においては、不登校児童への居場所づくり支援にも取り組んでいる。さらに、地域福祉の観点から、地域包括支援センターや社会福祉協議会といった、地域における重層的課題の解決を図る会議体に参加連携を図っている。	
	指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）	
	これまで老朽化している施設の維持管理においては、利用者目線と管理運営の両面から、本館1階蛍光灯のLED化及び陶芸窯の修繕などの取組を進め、さらには安全面にも意識した維持管理を図ってきた。また、大規模修繕でも尼崎市と意見交換を行い状況を共有しながら協議し進めてきた。今後においても、老朽化が増していくことは必然であり、引き続き市との協議を重ね利用者の安全・安心を目指した維持管理に務める。	
	市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）	
	施設の機能統合が遅延する中、市と適宜協議を重ね、利用者目線と管理運営の両面から、老朽化した施設の適切な維持管理に努めている。太鼓関連事業等の伝統のある事業について、一部、自主事業として実施する等、独自の取組も積極的に進めている。引き続き継続・発展に取り組んでもらいたい。	
	双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）	
	今後は指定事業全体については、着実に実施・推進していく。施設維持管理については、引き続き協議していく。	

1 施設概要

(1) 基本的事項

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

効 今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

収入(4月～3月末実績)				支出(4月～3月末実績)			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	45,244,000	45,244,000	0	人件費	29,148,000	29,439,495	-291,495
				事業費	3,300,000	4,216,533	-916,533
				施設維持管理運営費	9,406,000	13,570,815	-4,164,815
				その他	3,390,000	4,941,636	-1,551,636
収入計	45,244,000	45,244,000	0	支出計	45,244,000	52,168,479	-6,924,479

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

法令遵守	
施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正

性 危機管理—事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか

履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか

年度事業計画冒に示している計画と実際に業務が遂行されているかが	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正

関係性の構築
月1回の管理責任者会での意見交換会を行うほか、適時の報告・連絡・相談を互いに密にしている。

協働の状況（ブル・ブルは協働の相乗効果の視点、ブル・ブルはハード・ソフトを踏まえた施設管理業務の状況）

展示を行った。武庫地区地域福祉ネットワーク会議の委員として、令和7年2月17日に「令和6年度『ついでに全体会』」を実施した。地元では、第1連協地区地域福祉会議において防災マップの更新を行うとともに、まち歩き支援など事務局活動を担当している。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

長寿命化を目的とした整備工事が終了した。この間中断していた各種講座を再開した。令和5年度に実施できなかった地域総合センター運営委員会（4月23日）、講座発表会（7月13日）を実施した。来館者数の増加を目指して、青少年の居場所事業（4月～3月の南武青少年クラブの来館者数、小学生3,173人、中学生83人）、子育て世代の居場所事業（6月～3月の南武子育てクラブの来館者数、おとな14人、子ども23人）を開始して、地域総合センター事業のさらなる充実に努めている。市の新規採用職員等の研修会場としての利用があり、多くの方にセンターの所在地や施設内容の周知を図った。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

各種地元団体の構成員や、場合によっては事務局を担う等、積極的に地域の活動に関わっている。また、令和5年度実施の長寿命化工事により一時的に離れた利用者を呼び戻すとともに、新たに青少年の居場所事業等を実施して利用者の増に取り組み、一定の成果を挙げている。利用者の意向についてのアンケート調査などを活用し、更に魅力的なセンター事業となつとも、尼崎市における人権センターとしての役割を意識しながら事業運営を期待する。なお、小中学生の利用が増加しているのことであるが、安全・安心に利用できるよう、十分な配慮をお願いする。

地域住民の参画・連携のさらなる推進については、引き続き実施していく。定期的に実施している「地域総合センター運営委員会」を引き続き開催し、地域住民や利用者の意見を反映していくとともに、地域課題についても積極的に取り組んでいく。他の指定管理者と情報の共有や連携を深め、地域総合センター全体の質の向上に取り組んでいく。

[illegible]

今後とも、地域の各種団体等との関係を深めるよう積極的に取り組む。啓発事業等の実施に当たっては、より効果的な手法の導入を検討する。施設の修繕については、利用者の安心安全を第一に、市と指定管理者で協議していきたい。